

豊頃町議会議員で構成する「豊頃町議会議員会」は、昨今の新型「コロナ」ウィルス感染症の影響を受けている町内経済を循環させる一助となるため、豊頃町商品券を議員会費で購入し、町内事業者への支援をさせていただきます。

**豊頃町議会議員会による
町内事業者支援**

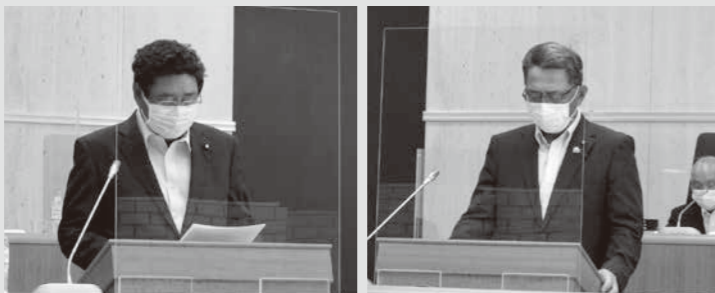
Q 特に重要課題になっている人口減少対策をどのように捉え計画を策定しているのか。
A 按田町長
令和2年10月の国勢調査では、豊頃町の人口が3020人、世帯数が1354世帯という結果が出ている。推計では令和12年に2576人になるとされており、今後どういった施策により人口減少を止めていくかが重要である。自然減の状態は続くと思われるが、社会増という点で、移住定住に向けた施策を早期に進めていきたいと考える。

その他子育て支援の施策や働く場所の確保などについて、ホームページ等を活用したPRを進めていくよう担当課にも協議している。

意見書

- ① 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ② 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ③ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ④ 2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

①、④は産業厚生常任委員会、②、③は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が、坂口尚示委員長、小笠原茂人委員長から提案説明され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する坂口尚示委員長（左）と小笠原茂人委員長（右）

**新型コロナウイルス
感染拡大防止の取組**

豊頃町議会では、議員、説明員、傍聴者に対し、新型コロナウイルスウィルス感染拡大防止のため、入場時の手指の消毒及びマスクの着用をお願いしています。また、今回の第2回定例会から、議場内において、議席及び説明員席に飛沫防止のためアクリル板を設置しました。



議場に設置したアクリル板（左 議員側 右 説明員側）

ち最上位の計画にあたり、町民が安心して住み続けたいと思うまちを町民の皆さんとともに築いていくため、策定している。

まちづくりの課題として挙げていた10項目のうち、中でも人口減少・少子高齢化への対応、防災・防犯体制の強化、基幹産業の振興の3点が特に重要なものだと考えている。

人口減少・少子高齢化への対応としては、安心して子育てができ、住んでみたい、住み続けたいと思う環境の整備のため、子育て世代に対する施策を実施する。

防災・防犯体制の強化については、これまでの歴史において、本町はいつ発生するかわからない地震や津波、土砂災害などの災害が多いことから、町民の命を守るため早急に防災対策を進めていきたい。

そして、豊頃町の基幹産業である農林水産業に関わる方々や産業団体などしっかりとタッグを組みなから豊頃町を発展させなければならぬと考えている。

以上の3点は豊頃町まちづくり総合計画のすべてに通じるものだと考えており、町長を含めた職員が外へ外向き町民の声を聴きながら、しっかりと対応していきたい。

**ヤングケアラーの
現況と対策等について**



岩井 明 議員

Q 「ヤングケアラー（家族の介護やケア、身の回りの世話等を担う18歳未満の子ども）」の把握状況（世帯数等）と支援策等の対応は。
A 按田町長
現在本町において、ヤングケアラーに該当する事例については確認されていない。

今後もし子育て支援所や小中学校、児童相談所や警察署などの関係機関等と連携強化に努め、実態を把握した際には、早期支援を行っていききたいと考えている。

**生理の貧困
対策等について**

Q 経済的理由で生理用品の入手に苦しみ「生理の貧困」に対する本町の支援策等の対応は。
A 按田町長

**自然災害に伴う対策と
町民の防災意識について**



大崎英樹議員

Q 本町における自然災害のうち、特に土砂災害が発生する恐れのある危険箇所をどのようにとらえているのか。
A 按田町長
本町では平成30年度及び令和元年度において、法に基づき北海道による基礎調査が実施された。そ

新型コロナウイルスの影響により経済的困窮が広がる中、「生理の貧困」が顕在化してきていることを報道等でも認識している。町内でそのような状況を抱えている方に対しては、適切な支援ができるよう努めていきたい。

また小中学校では、生理用品を保健室に常備しており、児童生徒に対しては、養護教諭が適切に対応していると承知している。

公共施設への整備に関しても、実態を把握したうえで対応していきたいと考えている。

**第5次豊頃町まちづくり
総合計画について**

Q 計画の基本的な考え方と将来的なビジョンは。
A 按田町長
地域特性を生かしながら、子どもから高齢者まで一人一人が共に支えあい健やかにいきいきと暮らせる町を目指し、人口の下げ幅を少しでも抑えるため、いろいろな施策を展開していくことを考えている。

Q 計画の基本的な考え方と将来的なビジョンは。
A 按田町長
地域特性を生かしながら、子どもから高齢者まで一人一人が共に支えあい健やかにいきいきと暮らせる町を目指し、人口の下げ幅を少しでも抑えるため、いろいろな施策を展開していくことを考えている。

の調査結果を受けて危険箇所を認識しており、防災担当部署、林政担当部署と情報共有をしている。

Q 自然災害について、従来のハザードマップの見直しと、避難所の設定を改める全町的な意識付けと町民への啓蒙についての広報手段の計画は。
A 按田町長
道の調査結果を受け、各課と情報を共有している。

今後は危険箇所の現地調査・確認をしっかりと行い、広報等で周知し、該当となる地域の住民には、避難等が必要な場合での対処法などの啓蒙をしていきたい。

また避難体制の整備やハザードマップの改定、伝達方法の確立に向けて整備を図っていく。